

第2学期始業式

皆さん こんにちは。

暑さと感染症の拡大が続き、緊急事態宣言が発出されている中で迎えた新学期となりました。1学期の終業式では、皆さんが健康でこの日を迎えられることをお願いしましたが、全員そろっているでしょうか。

兵庫県でも連日 1000 人を超える新規感染者が出ています。これは同じ新型コロナウイルスでも、デルタ株と呼ばれる、少し変化したコロナウイルスが流行しているためです。このウイルスは感染する力が強く、これまであまり罹らなかった皆さんぐらいの年齢の人も、これまでより多く感染しています。感染すれば、2週間程度隔離が必要になり、職場や家族にも多大な影響が及びます。

では、どんな対策が有効かという、ウイルスを口や鼻から取り込まないことに尽きます。そのために、マスクの着用ははずせません。詳しくはこの後、保健部から説明がありますので、よく聞いてください。

コロナウイルスの話は保健部に譲るとして、夏休み中に考えさせられたこととお話ししたいと思います。

現在東京パラリンピックが開催中ですが、開催することに賛否両論あった東京オリンピックの中で、女子バスケットボール日本代表チームは史上初の銀メダルを獲得しました。そのチームのキャプテンの高田選手が試合後のインタビューでおっしゃられた言葉が「言霊って大事ですね。」でした。言霊というのは、「言」葉の「霊」と書いて、言葉には不思議な力が宿っており、発した言葉どおりの結果を現わす力があると信じられていることを指します。高田さんが「言霊」を感じた言葉は、ヘッドコーチが4年前のコーチ就任記者会見で宣言し、日本代表チームの練習で常に口にしていた、「東京オリンピックの決勝でアメリカに勝って優勝する」という言葉でした。バスケットボールは身長が高い方が有利です。外国人に比べて平均身長の高い日本人には不利だと考えられていたので、コーチ就任時ほとんどの人が

オリンピック優勝を実現できるとは思いませんでした。しかし、終わってみれば、準優勝でしたが、決勝戦でアメリカと戦うことは達成することができました。もちろん、口に出したことを達成するために努力が必要だったことは当然のことですが、諦めずに口に出し続けたことを言霊と表現したのだと思います。私たちがこうなりたいという目標を口に出し続けて、努力し達成したいところです。

さて、私が考えさせられたのは、ここからです。高田選手の例はプラスの方向の言葉に言霊を感じた実例ですが、これはマイナスの方向も考えられると思いませんか。マイナスの言葉を常に口に出し、マイナスの方向の行動を行うとその言葉どおりになっていく。例えば、普段から口癖のように「不幸だ」という人は物事をマイナスに捉えがちで、普通のことでも悪く感じられるから、不幸なことがよく起こるようになる。「面白い」とよく言う人は面白いことを探そうとしないので見つからず、さらに憂鬱な気分になる。「できない。無理。」と何事にも諦めて挑戦しない人は、できることの幅が広がらず、できることの少ない人になってしまう。他人を「嫌い」とよく言う人はますます嫌いなところが目につくようになって他人を悪く言っしまい、それを見せられる周囲の人に距離を取られてしまう。

言霊は迷信かもしれませんが、発言によって人生を変えた人はたくさん存在しています。普段話している言葉を少し意識して、前向きな言葉が出るように考え方を換えれば、行動が少しずつでも変わり、周囲もそれを見て変化します。皆さんも、前向きな発言を心がけて、できることを増やしてくれることを期待して始業式の式辞とします。